

2023年度 ANNUAL REPORT



公益社団法人 日本フィランソロピー協会 (JPA)

目次

2023 年度アニュアルレポート発行にあたって	3
はじめに	4
公益社団法人日本フィランソロピー協会の歩み	6
▶ 研修事業	
定例セミナー	8
業界別勉強会	9
社会課題のリアルを知る勉強会	10
自治体職員向け研究会	11
▶ 顕彰事業	
第 21 回企業フィランソロピー大賞	12
▶ 出版事業	
機関誌『フィランソロピー』	13
▶ 共生社会創造事業	
農福連携による共生社会創造事業	14
バリアフリー芸術推進事業	15
次世代育成事業	15
▶ 個人のフィランソロピー推進	
誕生日寄付	17
フィランソロピー名刺	18
▶ 企業の CSR 支援事業	
従業員のボランティア・マッチングプログラム	
(1) 個別企業向けボランティアのコーディネート	19
(2) ボランティア・マッチングサイト「ボランティアウェブ」	20
従業員等の寄付マッチングプログラム「フィランソロピーバンク」	
(1) 非営利団体への寄付	22
(2) 奨学金プログラム（個人向け）	23
個別企業の社会貢献推進	
(1) 社会貢献活動支援	24
(2) 被災地復興支援	25
(3) 助成事業支援	26
資料編	
寄付先 NPO（2023 年度実績）	27
企業から NPO への物品寄贈「あげます・もらいます」	28
財務データ／会員数／役員	29

2023年度アニュアルレポート発行にあたって

当協会のミッションは、健全な民主主義社会の構築です。一人ひとりが社会を創る主体として大切にされ、かつ、お互いの立場や意見に耳を傾けつつ、よりよい社会創造のために共に考え、議論し、働くことを民主主義社会創造の原点だと認識しています。具体的には、主に、企業の従業員はじめステークホルダーが、実際の課題に目を向け現場の声を聴きながら、さまざまな活動に参加できるような支援をしています。

ただ、世界的に見ると、“民主主義の危機”が言われるように、ウクライナにおける戦争は終わりを見せず、さらにイスラエルとハマスの紛争は沈静化とは程遠く、また、先進国においても自国優先主義が横行しています。

国内に目を向けると、15～34歳の若い世代で死因の第1位が自殺（死亡率は16.5%）で、これは先進国（G7）では日本のみです。若者が未来に希望を持てず、自分の生きる意味を見失うとは、SDGsで求めている「誰も取り残さない社会」はどうすれば実現できるのか、と暗澹たる思いを持たざるを得ません。

そういう中、企業では、投資家からの厳しい目もあり、「ビジネスと人権」は経営課題の中で重要な要素と位置付けられ、人的資本経営と相まって、Well-being経営などともいわれ、さまざまな取り組みがなされています。ただ、企業の公器としてのあり方を考えれば、平和を守るため、命を大切にするために、上記のような国内外の現実もわれわれには無関係だと断じてしまうのではなく、企業として、企業人として課題解決に向けて何ができるのか、真摯に向き合うことが必要になっているように思います。2023年度は、次世代育成分野における企業の取り組み事例をデータベース化しました。これを足掛かりに、今後は、よりいっそう青少年支援を強化し、健全な社会を創る市民となるためのシティズンシップ教育に尽力してまいります。

また、2023年度は、2024年度から始まる休眠預金を活用した農福連携事業を担ってもらう8団体を選定しました。今年1月の能登半島地震の被災地を含む各地での真摯な事例を共有し、農福連携による地域の再興・地方活性化の取り組みを、全国に広げていくことを目指しています。農業への障がい者等の就労を目指すだけでなく、農福連携を通じて、エコシステムにおける温かくて元気な地域づくりに向けて、自治体や企業、NPO、学校など地域全体で取り組むための伴走をしてまいります。

健全な民主主義社会づくりに向けた企業のあり方、個人の仕事のあり方、地域での関係づくりのあり方、公共心・利他心を育む教育のあり方などに目を配りながら、2023年度も事業を進めてまいりました。その様子をアニュアルレポートとしてまとめました。本当にささやかな歩みですが、お目通しいただき、次の展開のためのご意見やご要望などをいただければありがたく存じます。

引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年8月1日
公益社団法人日本フィランソロピー協会（JPA）
理事長 高橋 陽子

はじめに

私たちは、性別、年齢、障がいの有無など属性に関係なく、社会を構成する個人が主体的に、生き生きと役割を果たす社会こそが真の民主主義社会であり、“個人フィランソロピー”はその原点であると考えています。

現在、「行政依存型社会」から「市民自立型社会」へ社会システムが大きく変化する過渡期にあります。第1セクター（行政）、第2セクター（企業）に比べて小さな存在であった第3セクター（NPO・NGO）への期待が大きくなっているものの、まだその力は弱く、税収が減少する中、民間企業や市民の果たすべき役割も比重が増しています。

JPAは、企業と従業員はじめステークホルダーなどのフィランソロピー活動の推進を核に、主体となる個人が「より良い社会創造のために自ら考え、助け合いながら、課題解決に向けて行動する」ための取り組みを重視しています。その結果社会全体で社会参加の機運を高め、誰もが社会の一員として大切にされ、かつ役割を果たすことができる共生社会を目指して尽力します。

Philanthropyの語源：

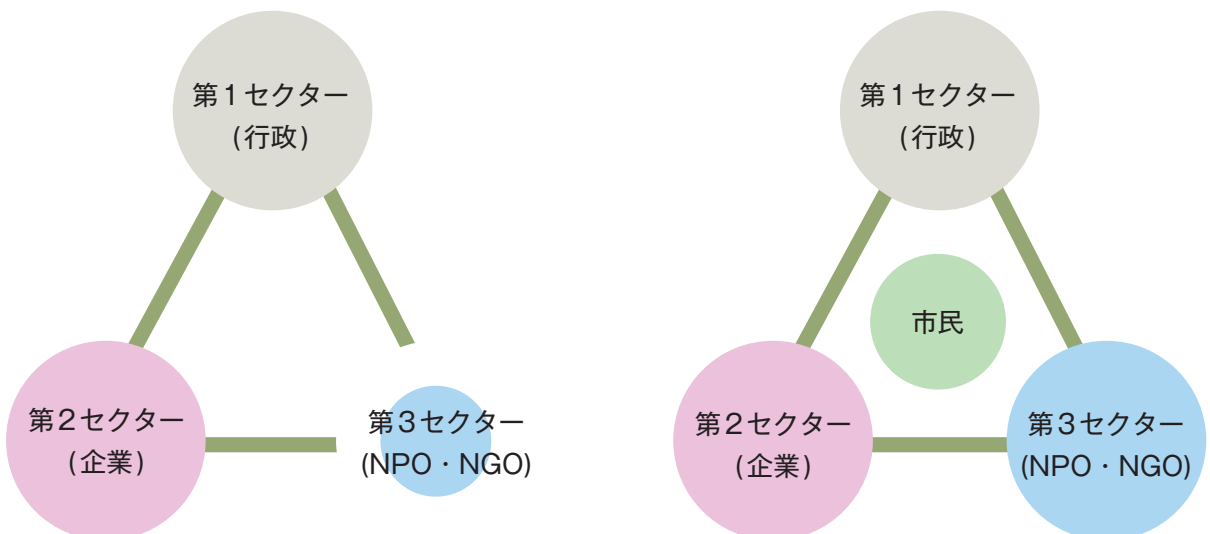
「フィランソロピー」とは、ギリシア語の「フィリア（愛）」と「アンソロpos（人類）」に由来する言葉で、「人類愛」「博愛」を意味します。現在は、人間愛をベースとして、社会課題の解決のために寄付をはじめ、社会貢献をすることを指しています。

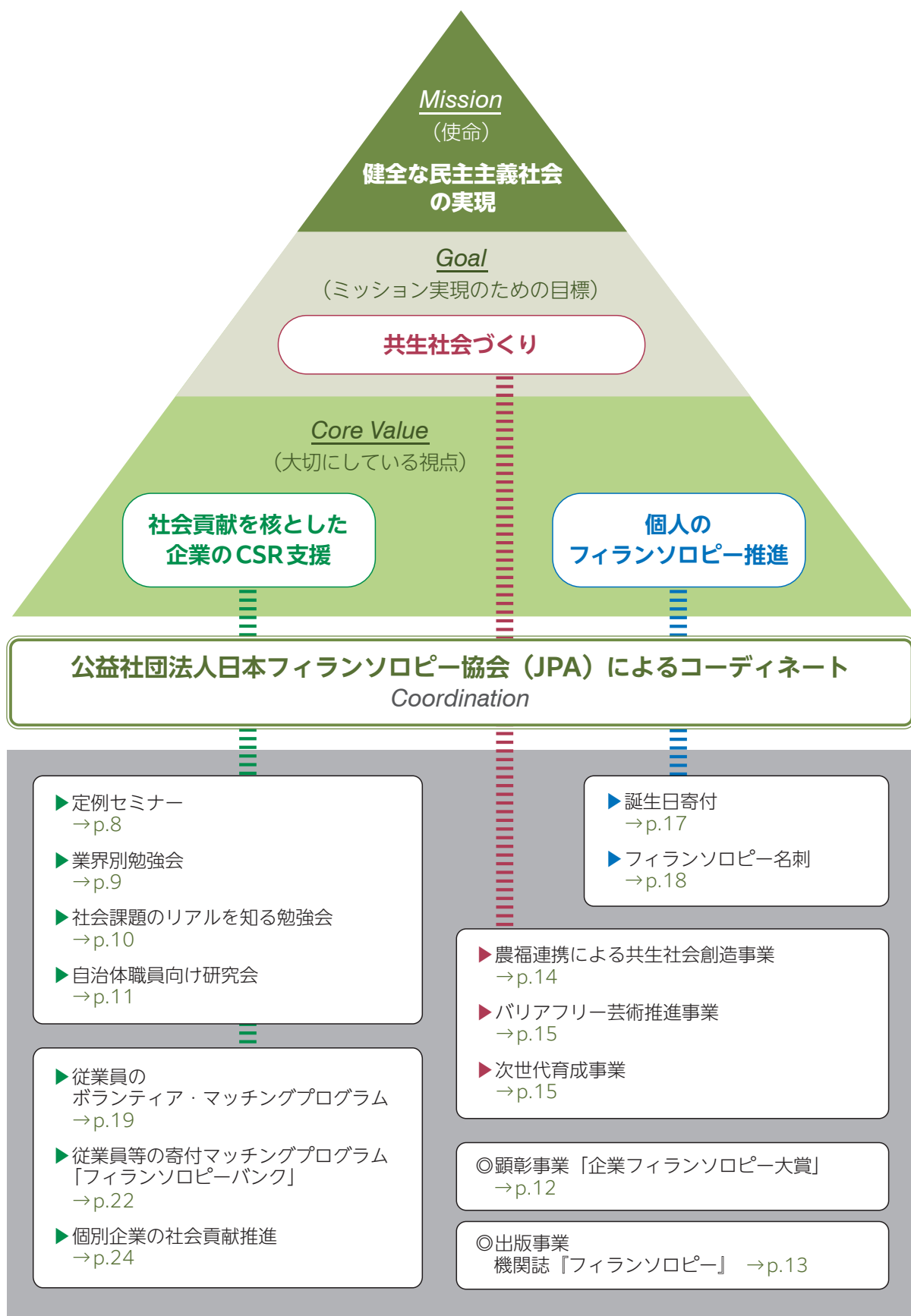
社会システムの変化

行政依存型社会



市民自立型社会





2007年
2006年
2005年
2004年
2003年
2002年
2001年
2000年
1999年
1998年
1997年
1996年
1995年
1994年
1993年
1992年
1990年
1962年

■定例セミナー（1999年3月まで「定例研究会」）

■機関誌「フィランソロピー」（2012年3月まで『月刊フィランソロピー』）

■顕彰事業「まちかどのフィランソロピスト賞」

●「アート展・障害のある人による作品たち」開催（主催：文化庁）

●「全国ノーマライゼーション推進高山会議」開催（共催：岐阜県高山市）

■音訳サービス「声の花束」（～2018年）

■障がい者支援オンラインショップ「アニモショップ」（～2012年）
■知的障がい者のアートと暮らしを描くドキュメンタリー映画『まひるのほし』制作

■避難所の運営

「日本フィランソロピー協会」に改称

■シンポジウム「今なぜフィランソロピーか」開催

1991年 国民政治研究会に「企業市民室」創設 企業フィランソロピー事業を開始

1990年

1962年 ジャーナリスト・学者らが中心となり、社団法人国民政治研究会を設立

▲CSR元年

企業による不祥事の多発と自然環境の悪化により、経済同友会が企業白書でCSRに言及。多くの企業がCSR部門を整備

▲国連ミレニアムサミットで、「ミレニアム開発目標（MDGs）」制定

▲NPO法制定

▲京都議定書採択
気候変動の国際的取り組み

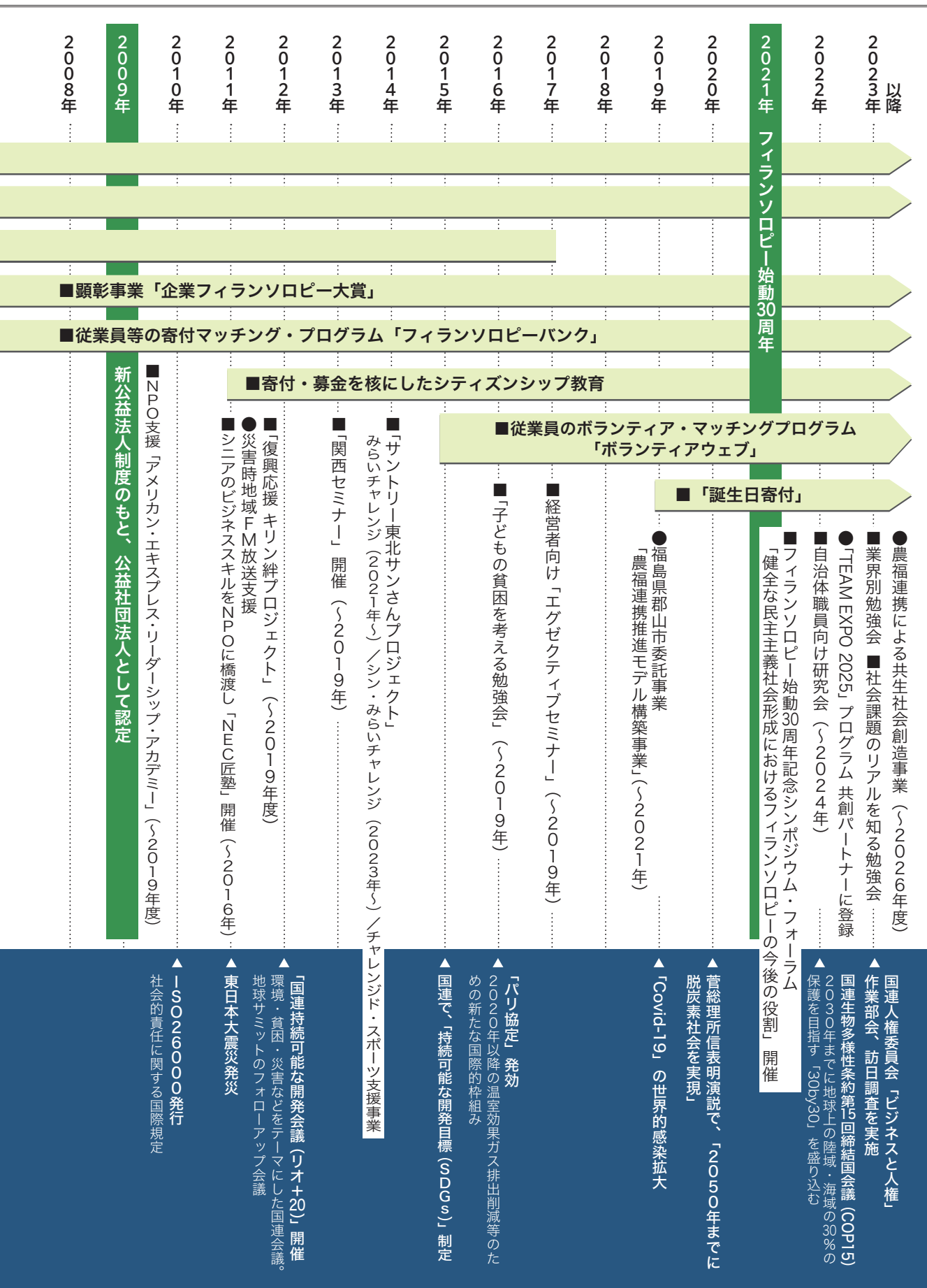
▲阪神・淡路大震災発災、ボランティア元年
多くの一般人が、ボランティアとして復興支援に参加

▲「地球サミット」開催（ブラジル・リオデジャネイロ）
環境と開発をテーマにした国連会議

▲大阪コミュニティ財団設立

▲フィランソロピー元年

経団連1%クラブ設立／企業メセナ協議会設立



研修事業

定例セミナー

企業のCSR・サステナビリティ推進・社会貢献担当者を対象に、SDGs、従業員の社会参画、次世代教育など様々なテーマで、先進事例を有する企業担当者や非営利組織運営者、学術研究者などを講師に迎え開催しました。12月には特別企画としてバリアフリー映画上映会&アフタートークを開催。年間13回開催し、セミナーには合計343名が参加、映画上映には131名が参加しました。

<https://www.philanthropy.or.jp/seminar/>

開催日	テーマ／講師
第405回 2023.4.27	サステナビリティ基礎講座2023 第1回「真のサステナビリティに資する企業経営とは～グローバルな潮流の理解をもとに企業の役割を考える～」 ＜講師＞関 正雄さん（損害保険ジャパン株式会社 経営企画部シニアアドバイザー、社会構想大学院大学客員教授、放送大学客員教授）
第406回 2023.5.15	サステナビリティ基礎講座2023 第2回「最新の環境課題を企業経営に取り込むには～生物多様性保全、気候変動を包括的に捉えて～」 ＜講師＞香坂 玲さん（東京大学大学院 農学生命科学研究科教授） 藤木 庄五郎さん（株式会社バイオーム代表取締役CEO）
第407回 2023.6.1	サステナビリティ基礎講座2023 第3回「サステナビリティ経営に資するイノベーションとは～未来視点で企業の存続意義をあらためて問う～」 ＜講師＞米倉 誠一郎さん（一橋大学名誉教授 法政大学大学院教授 ソーシャルイノベーションスクール学長）
第408回 2023.6.13	サステナビリティ基礎講座2023 第4回「ステークホルダーとの価値共創・協働戦略を再構築する～2030年代の自社と世界の持続可能性を高めるために～」 ＜講師＞川北 秀人さん（IIHOE【人と組織のための国際研究所】代表者（CEO）ソシオ・マネジメント編集発行人）
第409回 2023.6.27	サステナビリティ基礎講座2023 第5回「推進部署から社内変革を推進するサステナビリティ経営の真髄～サステナビリティ経営の事例紹介～」 ＜講師＞福田 里香さん（パナソニックホールディングス株式会社 CSR・企業市民活動担当室 室長） 鈴木 隆博さん（イオン株式会社 環境・社会貢献部 部長）
第410回 2023.7.24	“ビジネス×人権”という観点から「難民」を考える～企業が今とるべき難民支援策とは～ ＜講師＞可部 州彦さん（特定非営利活動法人難民支援協会 定住支援部マネージャー） 渡部カンコロンゴ清花さん（特定非営利活動法人WELgee 代表理事） 龔 軟群さん（株式会社LIFULL FRIENDLY DOOR 事業責任者）
第411回 2023.9.25	異業種コラボによる事業創出に学ぶSDGsの新境地～大手旅行会社が昆虫食を新事業にした理由とは～ ＜講師＞佐藤 優麗香さん（KNT-CTホールディングス株式会社 社長室／未来創造事業担当） 小澤 尚弘さん（株式会社MNH 取締役社長）
第412回 2023.10.19	未来を予測し、社会課題の解決に資するSDGs経営を目指す ～個人と社会、人と機械、人と自然の最適解をオムロン株式会社のSINIC理論に学ぶ～ ＜講師＞中間 真一さん（株式会社ヒューマンルネッサンス研究所（オムロングループ） エグゼクティブ・フェロー）
第413回 2023.11.10	社会貢献参画へのムーブメントのつくり方～H2Oサンタ10年の歩みでわかった社内広報のコツ～ ＜講師＞外間 孝次さん（一般社団法人H2Oサンタ 事務局長）
第414回 2023.12.14	特別企画 映画「ヒゲの校長」上映&アフタートーク ＜ゲスト＞尾中 友哉さん（映画「ヒゲの校長」主演・高橋潔役、NPO法人SilentVoice代表理事）
第415回 2024.1.16	行き場のない子どもたちをみんなで守る！～各セクターの取組から活動のヒントを学ぶ～ ＜講師＞久米 隼人さん（こども家庭庁 長官官房総務課 課長補佐） 飯田 大輔さん（社会福祉法人福祉楽団 理事長） 中村 龍太さん（サイボウズ株式会社執行役員ソーシャルデザインラボ所長）
第416回 2024.2.29	従業員の自律的な社会参画をいかにプロデュースするか～頼りにされる推進部署、あてにされる担当者の役割を考える～ ＜講師＞角谷 浩さん（株式会社電通トランスフォーメーション・プロデュース局シニア・ビジネス開発ディレクター） 吉田 祐子さん（株式会社電通コーポレートワン総務オフィス社会貢献部部長） 川部 賀一さん（楽天グループ株式会社サステナビリティ部サステナビリティ課ソーシャルインパクトグループ マネージャー）
第417回 2024.3.28	次世代教育プログラムのグッドプラクティスから学ぶ～企業としての評価と教育成果の狭間をどう埋めるか～ ＜講師＞森 悠介さん（ソニーグループ株式会社 サステナビリティ推進部CSRグループシニアマネジャー） 平野 里美さん（阪急阪神ホールディングス株式会社 人事総務室サステナビリティ推進部（社会貢献担当） 筒井 雪美さん（三井物産株式会社 サステナビリティ経営推進部グローバルソーシャル事業室）

※講師の肩書は開催時点のものです。

業界別勉強会

(1) 製薬企業間の勉強会「製薬業界の社会貢献のこれからを共に考える」

2022年度に引き続き、患者団体の支援や従業員のボランティア参加、協働の可能性を検討するため、支援プログラムの事例発表、ボランティアのニーズとシーズについての情報交換を行ないました。

開催日/会場	内容
第2回 2023.6.7 会場：アステラス製薬株式会社	「製薬業界の社会貢献のこれからをともに考える ～患者団体支援と連携を通じた療養環境の改善に向けて～」 喜島 智香子さん（ファイザー株式会社 コミュニティ・リレーション部 スペシャリスト） 富永 紗くらさん（ヤンセンファーマ株式会社 コミュニケーション& パブリックアフェアーズ部 部長） 参加企業：13社
第3回 2023.10.18 会場：ジョンソンエンド ジョンソン株式会社	「製薬業界の社会貢献のこれからをともに考える ～患者団体の実情を知り、企業として、さらに従業員が参加可能な支援に ついて考える～」 角倉 恵美さん（SMA《脊髄性筋萎縮症》家族の会 役員） 菊池 祥子さん（臍の会 代表） 福島 慎吾さん（特定非営利活動法人難病のこども支援全国ネットワーク 専務理事） 参加企業：8社
第4回 2024.3.27 会場：アステラス製薬株式会社	「患者団体支援としての従業員ボランティアの可能性を考える」 安室 由美子さん（田辺三菱製薬株式会社 総務部 CSR推進グループ） 松本 拓也さん（第一三共グループ労働組合連合会 副会長、 第一三共労働組合 中央執行委員長） 武久 萌美さん（アステラス製薬株式会社 サステナビリティ部 社会貢献マネジメントグループ） 参加企業：6社

※肩書は開催時点のものです。

(2) 食品企業の情報共有会

災害の多発を背景に、各社の寄付や支援の実情について、7社13名の担当者が集まり情報交換を行なうとともに、能登半島地震や過去の災害時の事例を共有しました。

開催日/会場	内容
2024.3.18 会場：ハウス食品グループ 本社株式会社	食品企業勉強会 「災害時の支援活動に関する意見交換会」 参加企業：7社

社会課題のリアルを知る勉強会

さまざまな社会課題について、現場のリアルについて学ぶ機会を作り、真に必要とされる支援につなげるための勉強会を不定期に開催しています。

開催日/会場	内容
第1回 2023.7.6 会場：株式会社丹青社	「児童養護施設を巣立った子どもたち支援の先進事例を学ぶ」 https://www.philanthropy.or.jp/adhoc/20230706/ 【第1部】 児童養護施設の子どもの実態と、巣立ったあとの子どもたちへの資金や機会、物質的・精神的な援助の必要性について 福本 啓介さん（社会福祉法人白十字会林間学校・あすなるサポートステーション所長） 【第2部】 企業が連携し試験的に実施した、児童養護施設の子どもたちに向けたオンラインによるキャリア教育で得られた課題について 薄井 徹さん（株式会社そごう西武コーポレートコミュニケーション室 CSV推進担当部長） 神田 奈々恵さん（オリンパス株式会社 コミュニケーションズ 社会貢献課長代理） 工藤 鉄也さん（株式会社丹青社 経営企画部 経営企画課 課長） 参加者：8名
第2回 2023.8.30 会場：株式会社電通	「東京都の里親制度について学び、里親子支援の可能性を考える」 https://www.philanthropy.or.jp/adhoc/20230830/ 【第1部】 里親制度について 東京都における里親の不足の実態と普及のための取り組みについて 芝山 希美さん（一般社団法人東京公認心理師協会 里親リクルーター） 【第2部】 子どもとの日常と課題 里親としての苦労と幸福について 【第3部】 ディスカッション／質疑応答 中村 いづる さん（特定非営利活動法人キアセット 里親リクルーター） 中村 智美 さん（社会福祉法人二葉保育園／二葉乳児院 二葉・子どもと里親サポートステーション 里親リクルーター） 参加者：23名

※肩書は開催時点のものです。



第1回勉強会第1部
福本啓介さん



第2回勉強会の様子

自治体職員向け研究会

福祉行政が縦割りになっている現状の中、対応しづらい複合的な社会課題に対応する越境人材の育成と産学官民連携による社会課題解決のためのモデルづくりを目的に、2022年度から東京多摩地区で実施しています。2023度は企業向けプログラムも開催。多摩地域8市町（八王子市、日野市、西東京市、武蔵野市、多摩市、日野市、昭島市、瑞穂町）から13名、企業からは18名が参加し、半年間の研究会（キーノート、勉強会、シンポジウム・発表会）を開催しました。

<https://www.philanthropy.or.jp/tama/2023/>

■ 自治体職員向け

開催日	内容
キーノート 2023.8.1	「まちの課題をまちの力で解決するために、協働から総動、小規模多機能自治へ」 川北 秀人さん（IIHOE【人と組織のための国際研究所】代表者（CEO）、ソシオ・マネジメント編集発行人）
第1回 2023.8.28	「障がい者や高齢者と地域資源の掛け合わせで見えた可能性」 中川 悠さん（NPO法人チュラキューブ代表理事、株式会社GIVE & GIFT代表取締役）
第2回 2023.10.6	「自治体×高校生×企業による地域課題解決と価値共創」 大喜 恒甫さん（日本電気株式会社、NECプロボノ倶楽部） 多田 功さん（TIS株式会社、加古川市役所アドバイザー、株式会社あすまちらぼ）
第3回 2023.11.7	「すまい×地域医療のごちゃまぜアパートの多世代交流が生み出す安心な暮らし」 鮎川 紗代さん（株式会社ノビシロ代表取締役社長、株式会社エドボンド代表）
第4回 2024.1.25	「生物多様性保全をテーマにしたまちづくりの可能性」 藤木 庄五郎さん（株式会社バイオーム代表取締役社長）

※肩書は開催時点のものです。

■ 企業向け

開催日	内容
第1回 2023.10.20	「自社の強みで実現する 誰もがその人らしい人生に踏み出す世界」 岡本 拓也さん（千年建設株式会社 代表取締役社長）
第2回 2023.12.8	「印刷しない印刷会社？！～社会貢献で可能性を高めるソーシャルプリンティングカンパニー®の挑戦～」 大川 哲郎さん（株式会社大川印刷 代表取締役社長）

※肩書は開催時点のものです。

■ シンポジウム・発表会

開催日	内容
2024.2.20	「Well-beingなまちづくり研究会シンポジウム」 第1部では広域連携した市役所職員5グループからの課題と解決策の発表。第2部は多摩大学ゼミ生と教員からの成果発表。第3部は、第1部で発表された5つの課題に対して、自治体職員と学生に加え、企業からの参加者も参加して意見交換会を実施。



研究会の様子



シンポジウム・発表会

顕彰事業

第21回「企業フィランソロピー大賞」

2003年創設の「企業フィランソロピー大賞」は、社会課題解決に真摯に向き合い、自社の経営資源（人材・ノウハウ・技術・情報等）を有機的・持続的に活用した企業の社会貢献活動を顕彰しています。新たな価値創造を実践する企業を顕彰し、広く社会に発信することにより、公正で温もりと活力ある社会を次世代に伝える一助とします。

第21回贈呈式は、2024年3月1日に、学士会館（東京都千代田区）にて開催し、会長の浅野史郎より賞状を贈呈しました。

<https://www.philanthropy.or.jp/award/21/>



（右）コマツ 執行役員
サステナビリティ推進本部長
出浦 淑枝さん

第21回 企業フィランソロピー大賞

- ▶ コマツ（東京都港区）
- ▶ 株式会社丸井グループ（東京都中野区）

企業フィランソロピー賞

- ▶ 《島を興す酒蔵賞》 尾畑酒造株式会社 （新潟県佐渡市）
- ▶ 《共に輝く共生社会賞》 株式会社クレール （滋賀県多賀町）
- ▶ 《花の環チャレンジ賞》 株式会社ローランズ （東京都渋谷区）



（右）株式会社丸井グループ
取締役常務執行役員 CFO
加藤 浩嗣さん

<選考委員（敬称略）>

- 委員長 國部 克彦 （神戸大学大学院 経営学研究科長 経営学部長）
委員 井手 明子 （東北電力株式会社 住友商事株式会社 社外取締役）
佐藤 雄二郎 （経済ジャーナリスト）
渋谷 健 （シブサワ・アンド・カンパニー 代表取締役）

※肩書は贈呈式時点のもの

出版事業

フィランソロピーを拡げる啓発活動として
機関誌・書籍を発行しています。

機関誌『フィランソロピー』 1992年創刊

<https://www.philanthropy.or.jp/magazine/>

機関誌『フィランソロピー』（隔月発行）では、社会課題を特集として企画。企業の先進事例や個人・NPOの活動を紹介しています。表紙には、障がいのある方々の多彩な作品を掲載しています。

※作品の一部は、フィランソロピー名刺としてご利用いただけます。（詳細はp.18）



ホームページで、巻頭インタビュー・座談会の全文をご覧いただけます。

2023年度 通号（発行月）	特集テーマ／巻頭インタビュー・座談会
No.272（4月号）	特集：患者団体の可能性を拓く 巻頭：患者団体、医療従事者、製薬会社が協力し、望ましい医療の実現を目指す 山本 ベバリー・アンさん （認定NPO法人HAE（遺伝性血管性浮腫）ジャパン代表理事、大阪大学教授）
No.273（6月号）	特集：「ただいま」「おかえり！」が聞こえる地域づくり 巻頭Ⅰ：「まずは住まいを最優先」一見えない貧困の拡大を食い止めるハウジングファースト 稲葉 剛さん（一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事） 巻頭Ⅱ：「みんな食堂」で生まれる優しい地域の助け合い 中川 悠さん（特定非営利活動法人チュラキューブ代表理事）
No.274（8月号）	特集：子どもの遊びを保障する 巻頭：大切なのは「目的がない自由な遊び」 榎原 洋一さん（小児科医、チャイルド・リサーチネット所長）
No.275（10月号）	特集：SDGs時代におけるシンクタンクの役割 巻頭：大学シンクタンクとNPOの共創 宋 悟さん（特定非営利活動法人IKUNO・多文化ふらっと理事・事務局長） 堂目 卓生さん（大阪大学社会ソリューションイニシアティブ長・大学院経済研究科教授）
No.276（12月号）	特集：ネイチャーポジティブを実現する「つくる責任」「つかう責任」 巻頭：気候非常事態にどう立ち向かうか 山本 良一さん（東京都公立大学法人理事長）
No.277（2月号）	特集：シティズンシップ教育が拓く共生社会 巻頭：主体的に生きる力を育む教育とは 木村 泰子さん（大阪市立大空小学校初代校長）

共生社会 創造事業

社会の誰もが、一人ひとりかけがえのない存在として尊重される
「居場所と出番のある地域」づくりを目指します。

農福連携による共生社会創造事業

公益社団法人
日本フィランソロピー協会



株式会社 農協観光



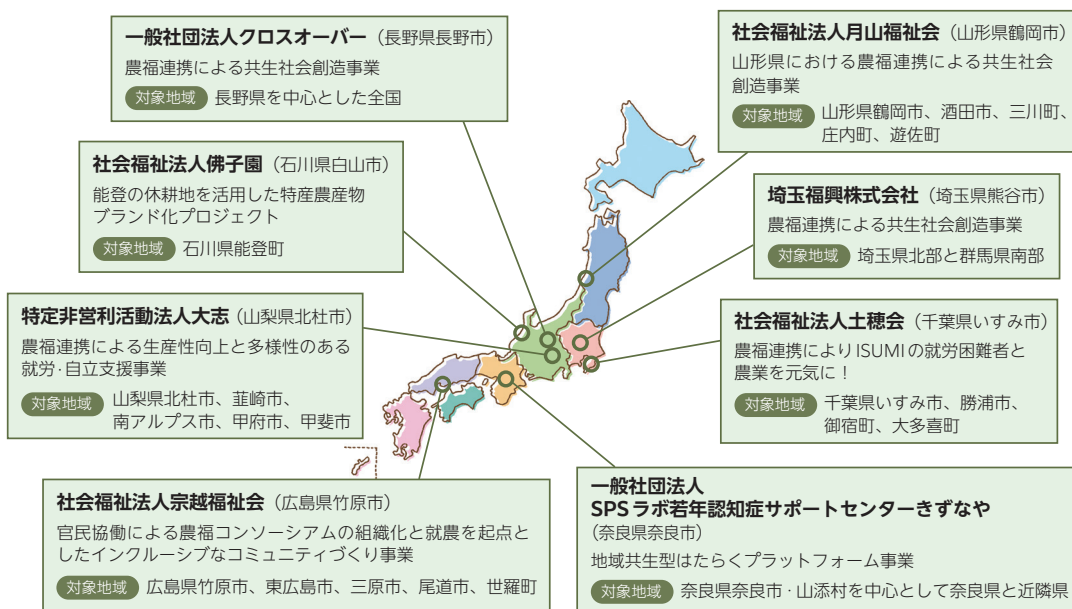
農福連携は、障がい者等の就労を促し、彼らを担い手・継承者不足の農業につなげる取り組みです。そして、農業と就労困難者をつなげるだけでなく、農福連携を通じて、誰もが生き生きと働ける環境づくり、農業の発展的拡大、生態系のバランスをとったエコシステムの下、元気で温かい地域コミュニティの創生につなげていきます。本事業を通じて、全国の仲間と共に、地域全体を優しく元気にするエコシステム社会を目指します。

2023年11月15日から12月18日にかけて実行団体を公募したところ、全国から33件の事業申請があり、厳正なる審査の結果、下記8件の事業を採択しました。申請事業および採択事業の詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.philanthropy.or.jp/noufuku/>

【助成期間】 2024年4月から2027年2月
【助成総額（予定）】 1億8,000万円（評価関連経費を除く）

【採択事業（実行団体）】



本事業は、一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が公募した「休眠預金等活用法に基づく資金分配団体」として、2023年度通常枠「草の根活動支援事業」として実施する事業で、JPAは株式会社農協観光とコンソーシアムを組み、推進しています。

バリアフリー芸術推進事業

2025大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト「文化芸術における合理的配慮提供マッチング事業」の一環として開催しました。

<https://www.philanthropy.or.jp/expo/20231028/>

みんなで楽しむバリアフリー芸術祭 2023 in 川崎

主 催：一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁、
公益社団法人日本フィランソロピー協会

開催日：2023年10月28日（土）

会 場：NEC 玉川事業所 玉川ルネッサンスシティホール（川崎市中原区）

プログラム：映画「さかなのこ」バリアフリー上映&アフタートーク

瑞宝太鼓演奏

魚類学者・さかなクンが原作の映画「さかなのこ」の上映と、同映画の監督である沖田修一さん、独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園理事長の田中正博さんによるアフタートークを実施。アフタートークでは手話通訳とリアルタイムの文字起こしで情報サポートを行ないました。その後、長崎県雲仙市に拠点を置く、知的障がい者のプロ和太鼓集団「瑞宝太鼓（ずいほうだいこ）」が演奏を披露。演者と観客席との間はバリアフリーで、圧巻のパフォーマンスを楽しみました。



瑞宝太鼓による演奏の様子

次世代育成事業

(1) 久里浜少年院 社会貢献活動「花育」

<https://www.philanthropy.or.jp/weblog/20240122/>

2019年度から久里浜少年院在院生による社会貢献活動「花育（※）」をサポートしています。過酷な生い立ちもあり自己肯定感が低く、少年院入院を繰り返してきた在院生たちが、胡蝶蘭を育てることを通して、かけがえのないいのちの存在に気づき、自他を大切に思うきっかけづくりとしています。

2023年度は10月から活動をスタート。在院生39名が胡蝶蘭を1鉢ずつ、自室（単独室）で開花するまで育ててきました。多くの在院生は、他者から「ありがとう」と言われる経験が圧倒的に不足していますが、贈呈式では、在院生が贈呈先団体に直接胡蝶蘭を手渡し、贈呈先からは感謝の言葉が在院生に贈られました。

- 参加者：久里浜少年院 全在院生39名 ■協力：有限会社椎名洋ラン園
- 内容：2023年10月28日 導入指導 2024年1月22日 贈呈式
- 寄贈先：病気の子どもの支える団体、重度心身障がい者を支える団体、
難民支援の団体、困難な状況にある子どもを支える団体 など9団体

※「花育（はないく）」とは、花を教材にいのちの大切さや他を思う心を実感し、自己有用感・自己肯定感を高めることで非認知能力を醸成する活動。

(2) 中高生によるチャリティームービープロジェクト2023

<https://www.philanthropy.or.jp/charitymovie2023/>

中高生が社会課題の解決に取り組むNPOの活動について学び、理解を深めるとともに、活動の意義や大切さを伝える動画を制作。寄付を集めるための広報活動を行ない、動画視聴者からの寄付金をNPOに届ける寄付育プロジェクトです。コロナ禍におけるNPOへの緊急支援のために開始したもので、動画制作や募金活動に、社会人と学生サポーターが伴走しました。活動内容と動画は、JPAホームページでご覧いただけます。

本プロジェクトは、競輪の補助と「5」のつく日。JCBで復興支援、の寄付金により実施しました。

【プロジェクトの概要】

■実施期間：2023年7月～2024年3月

■参加者：中学生・高校生 11チーム19名

(参加地域：宮城県、福島県、群馬県、東京都、静岡県、滋賀県、大阪府、沖縄県)

社会人サポーター 12名

学生サポーター 2名

■動画制作数：9本

■活動内容：NPOへの取材、動画制作、広報PR活動、募金活動

■寄付受付期間：2023年11月～2024年2月

■寄付総額：84万8,326円

■支援ならびに寄付先団体：

特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク（宮城県仙台市）

特定非営利活動法人底上げ（宮城県気仙沼市）

一般社団法人ハビリスジャパン（東京都港区）

特定非営利活動法人スマイルオブキッズ（神奈川県横浜市）

特定非営利活動法人プール・ボランティア（大阪府大阪市）

特定非営利活動法人IKUNO・多文化ふらっと（大阪府大阪市）

特定非営利活動法人いるか（福岡県福岡市）



最優秀賞は「チーム中央台南」

(3) JPA企業活動データベース「次世代育成」

<https://www.philanthropy.or.jp/csrd/children>

企業の社会貢献活動等に関する情報を収集・整理し、広く活用することを目的に「JPA企業活動データベース」の構築を進めてきました。これを今後、企業間、行政やNPOなどの連携プログラムへ発展させていきたいと思っています。その第一弾として、2024年2月に次世代育成に取り組む企業の情報を集約したデータベースを公開しました。

公開時は40のプログラム情報を掲載しており、新規掲載のお申し込みも受け付けています。

個人の フィランソロピー 推進

一人ひとりの市民が社会をつくる一員として、主体的に社会参加・社会貢献するフィランソロピー社会の実現を目指して、個人フィランソロピーを推進します。

Thanks Birthday & Happy Donation !

誕生日寄付

<https://www.birthday-donation.jp/>

誕生日寄付とは…

「与えられたいのちに感謝する日として、誕生日を少し違う発想で捉えなおし、「子どもたちの今を支え、未来に希望をつなぐ」ことを目指しています。誰にも平等にある、いのちを授かった日＝「誕生日」をきっかけに、日本に個人の寄付文化を醸成したいと考えます。2019年にスタートし、2023年度は5期目となりました。

	期間	寄付金額	寄付者数
第1期	2019年1月～2020年5月	10,839,715円	235人
第2期	2020年6月～2021年3月	4,969,632円	181人
第3期	2021年4月～2022年3月	3,513,578円	172人
第4期	2022年4月～2023年3月	4,388,651円	160人
第5期	2023年4月～2024年3月	3,787,150円	148人
合計		27,498,726円	896人

第5期ご寄付いただいた金額 3,787,150円（寄付者数：148名）

[カテゴリ別寄付金額]	「生きるを支える」	1,722,870円
	「育ちを支える」	1,029,138円
	「支える人を支える」	1,035,142円

第5期の寄付先について

「生きるを支える」

- 社会福祉法人
カリヨン子どもセンター
<https://carillon-cc.or.jp/>
- 一般社団法人若草プロジェクト
<https://www.wakakusa.jp.net/>

「育ちを支える」

- 特定非営利活動法人 TEDIC
<https://www.tedic.jp/>
- 特定非営利活動法人
ポケットサポート
<https://www.pokesapo.com/>

「支える人を支える」

- 特定非営利活動法人
ぶるすあるは
<https://pulusualuha.or.jp/>
- 特定非営利活動法人 しぶたね
<https://sibtane.com/>

寄付者からのメッセージ

- 子どもたちが少しでも楽しい時間、安心できる時間を過ごせますように。
- また一年、命をちょうだいしたことに感謝を込めて、少ない額ではありますが、次の世代に感謝の気持ちを贈りたいと思います。
- ちょうど誕生日の日に電車で広告を目にして、何かのご縁と思い寄付をさせていただくことにしました。
- 今年も誕生日寄付をできることに感謝いたします。応援しています！ がんばってね！

【誕生日寄付×カタレ富山】

地域の子どもを応援する取り組みとして、Jリーグサッカークラブ・カタレ富山と連携し、富山県内の団体に向けた寄付プログラム。第2期（2022年11月～2023年10月）の寄付金は257,343円でした。

2023年6月24日、創設15周年の記念試合にスタジアムで募金も行ないました（写真）。

寄付先団体：特定非営利活動法人はぁとぴあ21、
特定非営利活動法人北陸青少年自立援助センター



© KATALLER TOYAMA

【誕生日寄付の新ロゴマークを策定】



2023年10月2日、誕生日寄付の新たなロゴマークが誕生しました。
また、阪急阪神ホールディングス株式会社、東急グループの特別ラッピング電車「SDGsトレイン」にも新しいロゴを用いたポスターを掲出しました。

フィランソロピー名刺

障がいや難病などハンディキャップのあるアーティストの作品を利用した名刺を制作・販売。名刺の受注で得た収益の一部を、アーティストに還元しています。名刺の印刷は福祉施設に委託し、障がい者の可能性と経済的自立の支援につなげています。ウェブサイトの「作品カタログ」から作品を選び、お申し込みください。

<https://www.philanthropy.or.jp/meishi/>



キャンメル佐藤「zinnia」

1件：100枚

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
制作件数	376	115	164	201	227

★利用者からコメントをいただきました！



おおきこうすけ
大喜恒甫さん（アクセンチュア株式会社 マネージャ・一般社団法人Nボノ 理事）

多様な人々とのかわわりから新しい自分に出会いたいという想いが、私の社会貢献活動の始まりでした。現在、プロボノ活動の普及に情熱を注いでいます。フィランソロピー名刺を使うことで、名刺交換が儀礼にとどまらず、社会貢献活動を自然に伝え、心温まる交流の場となりました。多くの新しい協力者と出会うことができ、このつながりに感謝しています。今後も名刺を活用し続けたいと思います。

企業の CSR支援事業

社会貢献活動として
企業の従業員が参加する
プログラムを提供しています。

「調べるビーチクリーン」
湘南の海をきれいにしながら、海ごみの動向を調査



従業員のボランティア・マッチングプログラム

従業員のNPO等へのボランティア参加を支援します。プログラム企画、受け入れ団体の紹介および調整、事前・事後研修、運営協力などを行ないます。

(1) 個別企業向けボランティアのコーディネート

個別の企業向けに、ニーズに沿ったボランティアプログラムの企画や実施の支援を行ないます。

■アクセンチュア株式会社

多くの従業員に社会課題へ関心を持っていただけるよう、毎月行なっている講演会やボランティア活動に、さまざまな分野で活躍する団体を紹介するなど、開催にあたり協力しました。

■アストラゼネカ株式会社

社内会議のうち1時間半を用いて実施するボランティアプログラムとして、インドの子どもに送る折り紙教本づくり、子どもの安全を守るための、子どもの視界を疑似体験するメガネの作成などの活動をコーディネートしました。

■インスメッド合同会社

全国の社員がハイブリッドで毎年参加するGlobal day of goodのボランティアプログラムを企画提案。厳しい状況にあるアジアの子どもたちに届ける絵本に翻訳シールを貼る活動を行ないました。

■オーシャン ネットワーク エクスプレスジャパン株式会社

従業員の社会貢献活動プログラムとして、2022年に引き続き、2回目となる病気の子どもたちに贈る人形作りを行ないました。

■大日本印刷株式会社

ボランティア強化月間に向けてオンラインのボランティア活動を紹介し、地図情報を文字で入力する音声地図づくりのプログラムを実施しました。

■東日本電信電話株式会社

従業員向けのボランティアプログラムについて企画提案を行ない、今期は病気の子どもたちに贈る人形づくりプログラムを実施しました。

■株式会社ファイントゥデイ

新人研修のプログラムとして、ボランティア活動の企画とコーディネートを行ないました。2023年4月6日に「手作り翻訳絵本」のプログラムをオンラインで実施し、13名の新卒採用の社員が参加しました。

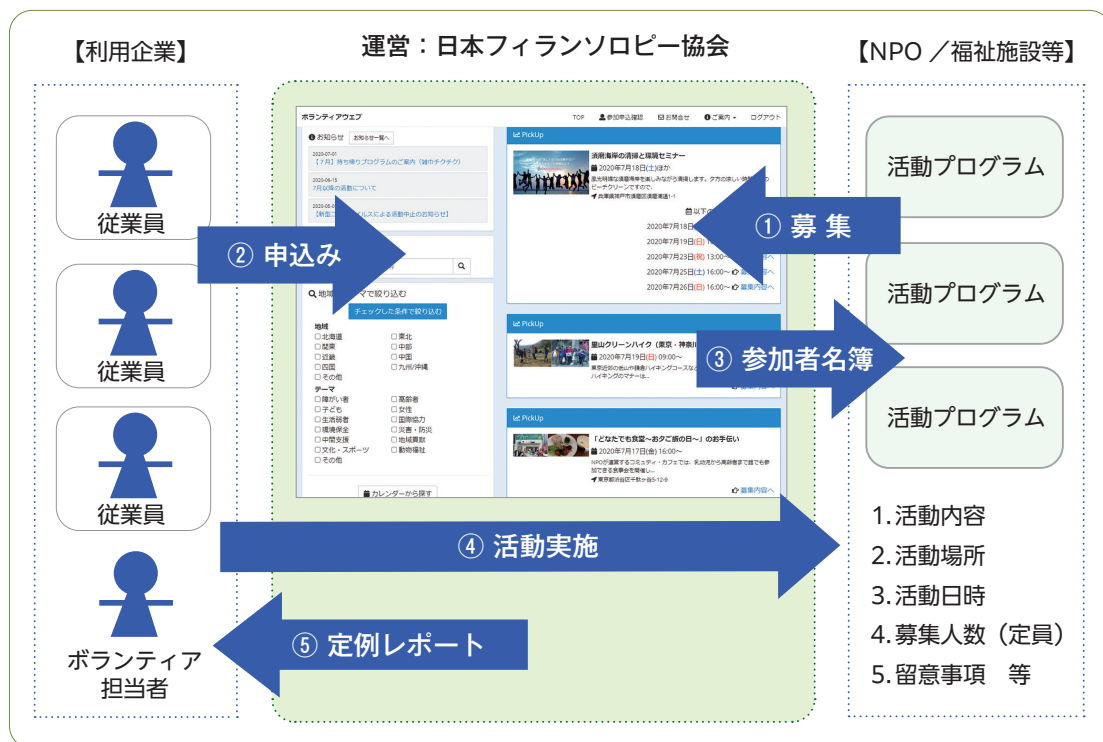
このほか、2024年1月に発生した能登半島地震の被災地ボランティアのニーズを受け、被災地で活動する団体と連絡を取りながら、企業ボランティア派遣の調整を進めました。

(2) ボランティア・マッチングサイト「ボランティアウェブ」

<https://www.philanthropy.or.jp/vweb/>

JPA 独自のボランティア・マッチングサイトです。全国の NPO からニーズをヒアリングして掲載したボランティア活動に、企業の従業員がウェブサイトを通じて申し込みができます。2023年度は、104 団体・155 のプログラムを掲載、21 社、1,274 名が参加しました。そのほか、企業主催のボランティア活動 4,263 名の参加も受け付けました。

「ボランティアウェブ」の利用イメージ



【ボランティアウェブの利用企業】（2023年度） ※社名 50 音順、★は 2023 年度から開始

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| ■アサヒグループジャパン株式会社 | ■積水ハウス株式会社 |
| ■アストラゼネカ株式会社 | ■ソニーグループ株式会社 ★ |
| ■イオン株式会社 | ■第一三共株式会社 |
| ■伊藤忠商事株式会社 | ■パナソニック ホールディングス株式会社 |
| ■オリンパス株式会社 | ■株式会社ファイントウデイ |
| ■カルビー株式会社 | ■富士通株式会社 |
| ■サントリーホールディングス株式会社 | ■株式会社ブリヂストン |
| ■株式会社ジェーシービー | ■株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ |
| ■株式会社ジャックス | ■ヤマハ株式会社 |
| ■ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ | ■株式会社 LIFULL |
| ■セイコーエプソン株式会社 ★ | |

【ボランティア参加者の声】

間伐や枝打ちなどの森林ボランティア（岐阜県）

未経験者でしたが、親切、丁寧に対応していただいて、すんなりとグループに溶け込むことができました。参加者の年代が幅広く職業もいろいろで、ボランティア作業だけでなくさまざまな人と接して話ができ、とても有意義な時間でした。

諏訪市での子ども食堂のお手伝い（長野県）

今回もとても楽しい時間を過ごせました。地藏寺に集まった子どもたちは、おのこの好きなように遊んだり、初めて見るものを試しており、湧きあふれる好奇心を十分に満たせる良い空間であると改めて実感しました。また私自身は子どもたちから新しい遊びや流行を教えてもらい、世の中で流行っていることを知りたいという探求心を満たしていただきました。お互いが学び合える環境はとても素敵だと感じています。

「折れない心を育てる いのちの授業」

出前授業サポートボランティア（東京都）

中学校の道徳授業のサポートを通して教育現場に触れることができたことは、刺激的でした。授業で取り上げられたテーマに対して、自分には何ができるのかを深く考えるきっかけとなりました。



グリーター（挨拶係）・販売ボランティア（神奈川県）

普段はデスクワークのため、6時間以上の立ち仕事の大変さが身にしました。毎日従事している方はすごいと思います。知的障がいのある方々が、運営スタッフから自分ができるタスクを任せられ、励まされたり褒められたり、喜びを感じながら働いていたのが素晴らしいです。社会での居場所・接点として、とても大切な役割を果たしていると感じました。



★利用企業からコメントをいただきました！



ソニーグループ株式会社は、社員にボランティア参加の機会をより多く提供し、社会課題への関心を深めるきっかけとなるよう、2023年4月よりボランティアウェブの利用を開始しました。2023年度は274件の申し込みがあり、清掃活動・調理支援・在宅ボランティアなどさまざまなジャンルのボランティアに社員が参加しました。社内にはこれまで「ボランティアに個人で申し込みすることに対してハードルの高さを感じる」という意見がありましたが、「ボランティアウェブを活用することでボランティア活動にチャレンジしやすい」という声が多く寄せられています。

今後も引き続きボランティアウェブを活用し、社員の社会課題の理解を促進していきます。

ソニーグループ株式会社 サステナビリティ推進部 CSRグループ
ソーシャルイノベーションチーム シニアマネジャー 森悠介さん

従業員等の寄付マッチングプログラム「フィランソロピーバンク」

企業や個人の寄付金を、非営利団体の活動費や、個人への奨学金として配布します。

(1) 非営利団体への寄付

<https://www.philanthropy.or.jp/pb/>

2023年度は、74の非営利団体に寄付。寄付元はp23、寄付先については、資料編p27～28をご参照ください。

総額 48,638,735円

フィランソロピーバンクの仕組み



★利用企業からコメントをいただきました！

日本フィランソロピー協会との寄付サイト協業について



弊社では、災害ボランティア活動の一環として社員寄付について検討を進めてまいりました。2020年から新型コロナウイルスに拡大に伴い、現地でのボランティア活動が困難になり、そんな中でも災害に遭われた被災者のお役に立てる手段として、寄付サイトの構築にご協力いただきました。その過程で、まずは2023年末に実施致しました、社員自らが“誰かのために”を考えるプログラム「たすけあい月間」のサイトを作成いただきました。

続いて、2024年元日に発生した「能登半島地震」でも同システムを活用し、社員寄付を速やかに実施することができました。社員寄付サイトの構築運営だけでなく、寄付先の選定も含めたトータルでご協力いただき助かりました。

サントリーホールディングス株式会社
CSR推進部 竹内薫樹さん

2023年度 フィランソロピーバンク利用企業・個人と寄付内容

サントリーホールディングス株式会社	12月をたすけあい月間として従業員募金制度を開始し、4団体に寄付金を配布。能登半島地震支援のための募金活動を2024年1月に実施。食料支援、移動支援などの支援に取り組む4団体に寄付金を配布。
大和ハウス工業株式会社 大和リビング株式会社 大和ハウス賃貸リフォーム株式会社	賃貸住宅事業に関わる収益の一部を寄付金として拠出し、「多様な人が心豊かに生き、地域の魅力溢れるコミュニティづくり」をテーマに、寄付先10団体に寄付金を配布。
東京海上日動 あんしん生命保険株式会社	社員による募金、および代理店でのグッズ販売の一部を、病気による長期入院の児童支援団体、難病患者支援団体、認知症啓発団体の3団体に寄付金として配布。
東京海上日動 火災保険株式会社	従業員による募金制度、東京海上日動 Share Happiness 倶楽部の実施。9団体に寄付金を配布。
TOYO TIRE 株式会社	グループ従業員の80%が参加する環境基金を活用し、環境問題に携わる団体を公募。選考の結果、13団体に助成。
株式会社ファンケル	顧客からのポイント寄付を金額換算したものと、社員からの募金を寄付金として拠出し、全国の重度心身障害者施設および視覚障害者施設／支援団体12団体に配布。
株式会社ブリヂストン	従業員募金制度であるBSmile募金より（1）環境（2）安心・安全なmobility社会（3）地域社会（4）AHL（Active Healthy Lifestyle）とDE&I（5）人財育成・教育の5つのターゲット分野を対象として公募し、選考の上10団体に助成。
株式会社ゆうちょ銀行	商品や業務の環境負荷の軽減効果を寄付金として還元するプログラムで、「地域社会の持続的発展のために、地域住民と共に取り組む環境保全」をテーマに、寄付先13団体に寄付金を配布。
個人	子どもの教育活動を行なう団体への寄付

(2) 奨学金プログラム（個人向け）

<https://www.philanthropy.or.jp/anshin/>

■東京海上日動あんしん生命保険株式会社

2016年度より、社会貢献活動の一環として「遺児への教育・養育支援」を実施し、がんなどの疾病により保護者を亡くした子どもたちのために基金を設立。創立20周年記念「東京海上日動あんしん生命奨学金制度」の公募、審査、給付金の配布を含む運営を支援しています。

★奨学金制度（給付型）

対象：疾病により保護者を失い、大学等への進学に経済的支援を必要とする方（年間30万円）

- ・ 2023年度は、前年度給付が決まった奨学生名202名に、計6,060万円を給付
- ・ 2023年6月より募集を開始した2024年度奨学生60名内定

個別企業の社会貢献推進

(1) 社会貢献活動支援

■アステラス製薬株式会社

「患者会次世代リーダー育成のためのLeadership Training Program」

患者会の安定的・持続的な組織づくりを可能にする人材育成を目的とした、研修会の企画・開発・運営協力を行ないました。患者さんの生活面でのQOLの向上や、患者会の組織基盤強化のために、患者間や組織外とのコミュニケーションスキル向上と組織運営のマネジメントスキルを磨く機会を提供し、15団体から25名が参加しました。

■クラシエ株式会社「しるしの日募金」

従業員募金「しるしの日募金」寄付先団体の推薦を行ないました。今回は子ども支援団体にフォーカスしました。

■サントリーホールディングス株式会社

「サントリー チャレンジド・スポーツ アスリート奨励金」第2期

地域におけるチャレンジド・スポーツ（パラスポーツ）の普及拡大・環境整備を目的として、各都道府県、政令指定都市の障がい者スポーツ協会から推薦を受けたチャレンジド・スポーツの未来を担う若手アスリートと、各協会・競技団体等に対して奨励金を給付しました。第2期は全57協会から推薦を受け、アスリート81名、障がい者スポーツ協会または競技団体25団体を採択し、総額2,850万円を給付しました。

■東京海上日動火災保険株式会社「海を守る活動（アマモの保全再生活動）」

「海」を取り巻く環境におけるさまざまな課題解決のため、アマモ場の保全・再生活動を行なう活動団体への支援とともに、東京海上日動社員、代理店およびその家族による活動を実施しました。2022年に度実施した神奈川県横浜市に加え、2023年度は福岡県博多市、大阪府阪南市でも活動を行ないました。

■東京ガス株式会社「森里海つなぐプロジェクト」

「森」「里」「海」をつなぐ、アマモ保全など環境保全を目的にした社会貢献活動。2023年度は新たに、「海」の活動支援の一環として「海辺の支援再生 高校生サミット2023」の開催を支援しました。

■日本生命保険相互会社「プロボノ活動支援」

日本生命のプロボノ活動をサポートしました。2022年度につづき、2023年もコーポレートプロモーション部、人材開発部の共同事業として3チームが稼働して、NPO3団体とのマッチングを実施。JPAも事務局として伴走しました。

■PGF 生命保険株式会社「SDGsプログラム」

“未来を担う子どもたち”をテーマに、子どもの貧困問題の本質的な解決に取り組む団体と、遠方の自宅を離れ、都内の専門病院で治療を受ける子どもたちとその家族のための滞在施設を運営する団体への寄付を行ないました。また、中学校や高校で金融ケイパビリティ教育を行なう「PGF オープンアカデミー」の開講準備を行ないました。

■株式会社プロロジス「プロロジス就活応援奨学金」

児童養護施設等から進学し、就職を目指す学生のための給付型奨学金「プロロジス就活応援奨学金」の支援を行ないました。また、公募に向けた資料準備、関係団体等への告知、申請者審査を実施しました。

■株式会社三井住友フィナンシャルグループ

「環境によって可能性の発揮の機会を奪われている子ども・若年者に対し、よりよい人生を切り拓いていくための機会を提供し、それを応援するための新しい仕組みを作る」というパーパスの下、児童養護施設の子どもたちを対象とした学習支援プロジェクトの立ち上げにおける、パートナー施設の調査を行ないました。

(2) 被災地復興支援

■サントリーホールディングス株式会社

「みらいチャレンジプログラム」

<https://www.philanthropy.or.jp/suntory/mirai/03/>

サントリーグループの東日本大震災復興支援「サントリー東北サンさんプロジェクト」の一環として、2021年2月より新規スタート。岩手県、宮城県、福島県の地域の復興を目指して新たな活動を立ち上げようという個人・団体の活動を奨励金という形で支援しています。

最終年度である第3期は208件から申請があり、選考の結果、3県計36件を採択し、奨励金の額は約3,000万円でした。3年間では、770件の申請から110件が採択され、奨励金総額は約1億円となりました。

「シン・みらいチャレンジプログラム」

<https://www.philanthropy.or.jp/suntory/shin-mirai/>

みらいチャレンジプログラムの後継プログラムとして2023年11月1日からスタート。地域の活動がより根付くように、助成期間の上限を最大3年間（2024年4月～2027年3月）としました。各年100万円を上限として、3年間で300万円の申請が可能という条件で、公募を行ないました。3県合計108件の申請があり、37件を採択しました。3年間で総額1億円の助成総額を予定しています。JPAは、助成先団体の中期的な活動をサポートします。

■能登半島地震支援基金

<https://www.philanthropy.or.jp/pb/noto2024/>

2024年1月1日に発生した能登半島地震への支援の輪を広げるため、基金を設立し、寄付を募っています。6月末まで募集し、支援状況を把握しながら寄付先を決定し活動支援を行ないます。

協力：株式会社イーネット、キリンホールディングス株式会社、日鉄興和不動産株式会社

(3) 助成事業支援

■アステラス製薬株式会社「スターライトパートナー患者会助成金」

難病の患者会等を対象に、会の自立や持続的発展に資する活動に対する助成金制度（第19回）に審査員として参画しました。

■一般財団法人サンライズ財団（三共生興株式会社）

環境保全、および繊維（シルク）産業の分野で活動する団体の事業を対象とする助成金プログラムの運営支援を行ないました。環境保全分野は8団体、繊維産業分野は2団体に助成しました。

■田辺三菱製薬「手のひらパートナープログラム」

難病の患者や家族の「生活の質（QOL）向上」のために、難病患者団体や支援団体が実施する活動への助成金プログラムの運営支援を行ない、第12期は14団体に助成しました。また、助成団体間の情報交換や交流の機会として、活動報告会を開催しました。

■日本たばこ産業株式会社「SDGs 貢献プロジェクト」

格差是正・災害分野・環境保全の分野で活動する団体の事業に助成する SDGs 貢献プロジェクトの外部事務局として、運営支援を行ないました。

寄付先NPO（2023年度実績）

※寄付者（法人）は50音順

寄付者（法人）	寄付先団体	寄付者（法人）	寄付先団体
サントリーホールディングス株式会社	〈たすけあい月間〉 特定非営利活動法人キッズドア 特定非営利活動法人アクション 一般社団法人 ジェネシスオブエンターテイメント 特定非営利活動法人日本レスキュー協会	東京ガス株式会社	〈森里海つなぐプロジェクト〉 特定非営利活動法人 森のライフスタイル研究所 特定非営利活動法人 JUON NETWORK（樹恩ネットワーク） 特定非営利活動法人生態工房 特定非営利活動法人海辺つくり研究会 特定非営利活動法人海の森・山の森事務局 特定非営利活動法人熱海キコリーズ
大和ハウス工業株式会社、 大和リビング株式会社、 大和ハウス賃貸リフォーム株式会社	〈D-ROOM 地域共生基金〉 特定非営利活動法人 Kacotam 特定非営利活動法人 Light Ring. 特定非営利活動法人 ウィメンズハウス・花みずき NPO 法人 OHANA 特定非営利活動法人シェイクハンズ 特定非営利活動法人 こどもソーシャルワークセンター 特定非営利活動法人 D × P 特定非営利活動法人オリーブの家 特定非営利活動法人さぬきっずコムシアター 特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡	TOYO TIRE 株式会社	〈TOYOTIRE グループ環境保護基金〉 特定非営利活動法人近自然森づくり協会 特定非営利活動法人本州産クマゲラ研究会 特定非営利活動法人 SET 特定非営利活動法人茨城県南生活者ネット 特定非営利活動法人小笠原海洋島研究会 （任意団体） 神奈川トンボ調査・保全ネットワーク （任意団体）乙女高原ファンクラブ 特定非営利活動法人 中央アジア森林草地保全研究所 特定非営利活動法人 ホープ・インターナショナル開発機構 特定非営利活動法人里山倶楽部 特定非営利活動法人 クリーンオーシャンアンサンブル 特定非営利活動法人阿蘇花野協会 特定非営利活動法人どうぶつたちの病院 沖縄
東京海上日動 あんしん生命保険株式会社	〈ShareHappiness 倶楽部〉 特定非営利活動法人 認知症フレンドシップクラブ 特定非営利活動法人 難病のこども支援全国ネットワーク 特定非営利活動法人日本クリニックラウン協会		
東京海上日動 火災保険株式会社	〈ShareHappiness 倶楽部〉 特定非営利活動法人 わたりグリーンベルトプロジェクト 一般社団法人舞台芸術センター 一般社団法人ピースポート災害支援センター 特定非営利活動法人国境なき医師団日本 社会福祉法人全国盲ろう者協会 特定非営利活動法人 ウォーターエイドジャパン 特定非営利活動法人 全国子ども食堂支援センター・むすびえ 特定非営利活動法人 JUON NETWORK（樹恩ネットワーク） 一般社団法人 JEAN 〈トルコ・シリア地震支援〉 日本赤十字社 特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会 特定非営利活動法人難民を助ける会 〈アマモ場保全再生活動〉 特定非営利活動法人海辺つくり研究会 特定非営利活動法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター 一般社団法人ふくおか FUN	株式会社ファンケル	〈お客様ポイント寄付&もっと何かできるはず基金〉 社会福祉法人 旭川光風会 養護盲老人ホーム旭光園 社会福祉法人 新生会 みちのく療育園メディカルセンター 社会福祉法人愛光 一般社団法人うさぎのみみ 社会福祉法人訪問の家 生活介護事業所 朋 特定非営利活動法人ぴあサポート 社会福祉法人びわこ学園 社会福祉法人京都ライトハウス 一般社団法人 KaiKai （任意団体） みとよ視覚障がい者支援センターひかり 社会福祉法人 バプテスト心身障害児（者）を守る会 久山療育園 社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会
		株式会社ブリヂストン	〈ブリヂストン BSmile 募金〉 特定非営利活動法人 コミュニティワーク研究実践センター 特定非営利活動法人 放課後こどもクラブ Bremen 特定非営利活動法人わくわく 特定非営利活動法人芸術家と子どもたち 特定非営利活動法人チャイボラ

寄付者（法人）	寄付先団体	寄付者（個人）	寄付先団体
株式会社ブリヂストン	（任意団体） ハンド&ネイルケアボランティアチーム ガンチー 特定非営利活動法人D×P 特定非営利活動法人サードプレイス 特定非営利活動法人全国夜間中学ネット 一般社団法人岡山に夜間中学校をつくる会		〈フィランソロビーバンク〉 特定非営利活動法人お金で学ぶさんすう 〈2023年トルコ・シリア地震募金〉 特定非営利活動法人難民を助ける会 〈チャリティームービープロジェクト2023〉 特定非営利活動法人 まなびのたねネットワーク 特定非営利活動法人底上げ 一般社団法人ハビリスジャパン 特定非営利活動法人スマイルオブキッズ 特定非営利活動法人プール・ボランティア 特定非営利活動法人IKUNO・多文化ふらっと NPO法人いるか 〈誕生日寄付〉 特定非営利活動法人TEDIC 特定非営利活動法人ぶるすあは 一般社団法人若草プロジェクト 社会福祉法人カリヨン子どもセンター 特定非営利活動法人しぶたね 特定非営利活動法人ポケットサポート 特定非営利活動法人 北陸青少年自立援助センター 特定非営利活動法人はあとびあ21
ブルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命	〈SDGsプログラム〉 特定非営利活動法人ファミリーハウス 特定非営利活動法人Learning for All		
株式会社ゆうちょ銀行	〈ゆうちょ エコ・コミュニケーション〉 NPO 法人大雪山自然学校 特定非営利活動法人遠野エコネット 特定非営利活動法人たてやま・海辺の鑑定団 特定非営利活動法人多摩源流こすげ 特定非営利活動法人 国際ふるさとの森づくり協会 NPO 法人軽井沢 a-trust 特定非営利活動法人 能登半島おらっちゃんの里山里海 特定非営利活動法人どんぐりモンゴリ 特定非営利活動法人やましろ里山の会 特定非営利活動法人隠岐しぜんむら 特定非営利活動法人四国自然科学研究センター 一般社団法人ふくおか FUN 特定非営利活動法人石西礁湖サンゴ礁基金		

企業から NPO への物品寄贈「あげます・もらいます」

<https://www.philanthropy.or.jp/agemasu/>

企業から物品などの提供を受け、必要とする NPO へ橋渡しする「あげます・もらいます」事業を行なっています。

2023年度寄贈企業と物品の例

寄贈企業	物品	寄贈先
沖電気工業株式会社	クリアファイル	5 団体
株式会社 J-オイルミルズ	食用油セット等	17 団体
ジョンソン・エンド・ジョンソン日本 法人グループ	事務用品	13 団体
一般社団法人ゼブラ社会貢献支援協会	水性マーカー、蛍光ペン、ボールペン、シャープペン	6 団体
株式会社電通	防災備蓄品	5 団体
日鉄興和不動産株式会社	非常食	5 団体
富士通株式会社	不織布マスク、フリーズドライビスケット、非常用飲料水、 防災用品、非常・屋外用トイレ	31 団体
三菱地所株式会社、三菱地所・サイモ ン株式会社	車椅子	2 団体
三菱重工業株式会社	非常食	6 団体

財務データ

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	83,951,746	61,588,218	22,363,528
普 通 預 金	83,026,037	60,661,189	22,364,848
郵 便 貯 金	925,709	927,029	△ 1,320
未 収 金	12,868,589	14,576,057	△ 1,707,468
前 払 費 用	1,577,288	1,741,053	△ 163,765
立 替 金	0	32,000	△ 32,000
貯 蔵 品	226,509	456,296	△ 229,787
流動資産合計	98,624,132	78,393,624	20,230,508
2. 固定資産			
(1) 基 本 財 産	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特 定 資 産			
役 員 退 任 慰 労 引 当 資 産	27,050,000	19,416,667	7,633,333
職 員 退 職 給 付 引 当 資 産	7,009,016	7,856,111	△ 847,095
受 取 寄 付 金 資 産	115,539,770	68,697,611	46,842,159
受 取 助 成 金 資 産	74,440,103	0	74,440,103
情 報 シ ス テ ム 再 構 築 積 立 資 金	13,238,460	15,000,000	△ 1,761,540
プラットフォーム化推進事業資金	35,000,000	35,000,000	0
特定資産合計	272,277,349	145,970,389	126,306,960
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	2	2	0
什 器 備 品	26	28	△ 2
ソ フ ト ウ ェ ア	2,503,471	1,839,023	664,448
電 話 加 入 権	4	4	0
その他固定資産合計	2,503,503	1,839,057	664,446
固定資産合計	274,780,852	147,809,446	126,971,406
資産合計	373,404,984	226,203,070	147,201,914
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	13,829,571	4,023,665	9,805,906
前 受 金	17,024,300	16,141,600	882,700
預 り 金	1,579,755	1,019,311	560,444
未 払 消 費 税 等	4,359,900	5,727,000	△ 1,367,100
賞 与 引 当 金	3,522,700	3,523,216	△ 516
流動負債合計	40,316,226	30,434,792	9,881,434
2. 固定負債			
役 員 退 任 慰 労 引 当 金	27,050,000	19,416,667	7,633,333
職 員 退 職 給 付 引 当 金	7,009,016	7,856,111	△ 847,095
固定負債合計	34,059,016	27,272,778	6,786,238
負債合計	74,375,242	57,707,570	16,667,672
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	189,979,873	68,697,611	121,282,262
指定正味財産合計	189,979,873	68,697,611	121,282,262
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(189,979,873)	(68,697,611)	(121,282,262)
2. 一般正味財産	109,049,869	99,797,889	9,251,980
(うち基本財産への充当額)	()	()	(0)
(うち特定資産への充当額)	(48,238,460)	(50,000,000)	(△ 1,761,540)
正味財産合計	299,029,742	168,495,500	130,534,242
負債及び正味財産合計	373,404,984	226,203,070	147,201,914

正味財産増減計算書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	20,760,000	20,358,000	402,000
正会員受取会費	7,200,000	6,480,000	720,000
賛助会員受取会費	13,560,000	13,878,000	△ 318,000
事業収益	128,524,481	106,097,393	22,427,088
公1.社会貢献啓発事業収益	243,745	190,447	53,298
公2.社会貢献促進事業収益	127,644,506	105,363,366	22,281,140
公3.共生社会創造事業収益	636,230	543,580	92,650
受取寄付金	7,504,859	0	7,504,859
受取寄付金	191,549,419	183,122,273	8,427,146
雑収益	12,134	42,003	△ 29,869
経常収益計	348,350,893	309,619,669	38,731,224
(2) 経常費用			
事業費	323,750,093	294,345,087	29,405,006
公1.社会貢献啓発事業費	13,775,672	11,523,312	2,252,360
公2.社会貢献促進事業費	300,074,712	277,215,952	22,858,760
公3.共生社会創造事業費	7,685,098	3,842,810	3,842,288
公益共通事業費	2,214,611	1,763,013	451,598
管理費	15,348,820	11,993,678	3,355,142
経常費用計	339,098,913	306,338,765	32,760,148
当期経常増減額	9,251,980	3,280,904	5,971,076
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	9,251,980	3,280,904	5,971,076
一般正味財産期首残高	99,797,889	96,516,985	3,280,904
一般正味財産期末残高	109,049,869	99,797,889	9,251,980
II 指定正味財産増減の部			
受取助成金	80,697,200	0	80,697,200
受取寄付金	237,670,273	190,268,773	47,401,500
一般正味財産へ振替	△ 197,085,211	△ 182,813,460	△ 14,271,751
当期指定正味財産増減額	121,282,262	7,455,313	113,826,949
指定正味財産期首残高	68,697,611	61,242,298	7,455,313
指定正味財産期末残高	189,979,873	68,697,611	121,282,262
III 正味財産期末残高	299,029,742	168,495,500	130,534,242

会員数／役員

会員数の推移

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
法人正会員	25	20	18	19	22
法人賛助会員	102	103	106	114	109
法人会員合計	127	123	124	133	131
個人賛助会員	84	79	78	83	84

(数字は、各年度末時点)

役員・顧問

会長	浅野 史郎	元宮城県知事
副会長	田中 克人	一般社団法人心のふるさと創生会議理事長
● 理事長	高橋 陽子	
● 常務理事	小川 千種	
理事	太田 達男	公益財団法人公益法人協会会長
理事	倉光 恭三	特定行政書士倉光法務事務所代表
理事	河野 通和	編集者／京都橘大学客員教授
理事	佐藤 雄二郎	経済ジャーナリスト
理事	長島 剛	多摩大学経営情報学部教授
理事	永田 俊一	三菱UFJ信託銀行信託博物館館長
理事	板東 久美子	日本赤十字社常任理事
理事	藤原 作弥	エッセイスト／元日本銀行副総裁
理事	村木 厚子	津田塾大学客員教授／元厚生労働事務次官
理事	山崎 美貴子	東京ボランティア・市民活動センター所長
監事	尾崎 輝郎	公認会計士
監事	川口 里香	弁護士
顧問	堀田 力	前公益財団法人さわやか福祉財団会長
顧問	松岡 紀雄	神奈川大学名誉教授

(●印は常勤、2024年7月1日現在)

2023年度 ANNUAL REPORT

2024年8月1日 発行

発行：公益社団法人 日本フィランソロピー協会（JPA）

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 244

TEL：03-5205-7580

FAX：03-5205-7585

URL：<https://www.philanthropy.or.jp>

<https://www.facebook.com/philanthropy.or.jp/>

<https://twitter.com/JPNphilanthropy>

お問い合わせはこちらへ



（最寄駅）

● JR「東京駅」丸の内北口より徒歩 5 分

● 地下鉄「大手町駅」B3 出口直結

（東京メトロ 丸ノ内線／千代田線／東西線／半蔵門線、都営地下鉄 三田線）



FSC® 森林認証紙、ノンVOCインキ（石油系溶剤 0%）を使用し、再生可能エネルギー 100% で印刷しています。